

通学形態変更届(自宅外通学)

奨学生・予約採用候補者→学校  
→自宅外センター

本様式作成に当たっては必ず別紙の記入例をご参照ください。  
自宅外通学の申請には給付様式35に加えて賃貸借契約書などの証明書類も併せて必要です。  
自宅外通学要件確認チャートにて必要な証明書類をご確認ください。

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、下記のとおり通学形態変更を願います。  
なお、確認書で確認し、同意した内容から、通学形態変更に伴う給付月額及び第一種奨学金貸与月額の変更について、確認書並びに日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。  
第一種奨学金の貸与月額については、諸規定に基づき現在の月額から増額又は減額された額(複数あるときは機構の定める額)に変更されることがあることに同意し、併給調整に伴う月額変更により、既に振り込まれた金額が調整された金額で精算できない場合は、諸規定の定めに基づき、第一種奨学金貸与金として取り扱うことに同意します。

Table with columns: 提出日, 生年月日, 学籍番号, フリガナ, 氏名(自署)

黒い太枠線内は正確に、もれなく記入し、学校に提出してください。未記入の場合は不備返送となります。

Form with fields for University, Department, Course, Faculty, and Student ID.

■ 通学形態変更 自宅通学 → 自宅外通学

Main application form with sections for '自宅外通学要件', '生計維持者', 'キャンパス住所', and '自宅外要件'.

- 通学形態変更に基づき、給付月額および第一種奨学金貸与月額を変更します。
第一種奨学金の貸与月額については、法令等の規程に基づき増額又は減額(複数あるときは機構の定める額)にします。
選択可能な月額に変更したい場合は、第一種奨学金貸与月額変更願(届)(貸与様式2-1又は貸与様式2-2)で願(届)出してください。
通学形態変更による第一種奨学金貸与月額の増額に伴い、第一種奨学金の「変更後の借用金額(予定・総額)」が返還誓約書に印字の借用金額を上回る場合は、後日、「貸与奨学金増額同意書」の提出が必要になります。(学校を通じてお渡します。)

・自宅外通学に係る証明書類の添付が必要です。

裏面「自宅外通学要件確認チャート」のいずれかの「対象区分」に該当することを確認し、該当する「提出書類」を本局にホチキス留めて提出してください。 ※提出された書類は返却しません。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明) 20 年 月 日

学 校 名

関係課長 (※)

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

Table for '学校確認欄' with checkboxes for categories A through G.

Table for '電話番号(担当者名)', '学校番号', and '区分'.

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。